

全体会議 部門別協議会報告と講評

司会（福岡次期副代表幹事）



福岡：只今より、午後の部、全体会議を開催させていただきます。

皆様方には早朝から全体会議、また部門別会議にご出席賜りまして大変お疲れのところではございますが、今しばらくお付き合いを願いたいと思います。

部門別におきましては各カウンセラーの先生方、インストラクターの先生方大変ご苦労さまでございました。

それでは順次部門別会議の会長部門の方から進めさせていただきます。まず、初めに会長部門のカウンセラーをしていただきましたの前窪パストガバナーからよろしくをお願いします。

前窪PDG：みなさんご苦労様でございました。まず、会長部門からご報告申し上げます。

平原流に初心を述べられまして相変わらず短くということで行いましたが、結局会

場内は最終まで議論沸騰ということで、私は会長会議の方はあまり出たことがございませんが双方向でいろんな部分で討議なされました。CLPもしかしりですが、一番話題になったのはクラブで職業奉仕委員長に具体的に何をしていたらいいのか、ということでした。後ほど職業奉仕部門からもお話があるかと思いますが、会長部門は全て網羅しておりますので踏み込むかもしれませんが、会長部門の中でもそのような議論があったということです。CLPはそれなりに消化されつつあるといった感じです。

具体的に職業奉仕とはどういったものか、現在の職業奉仕ですと職業活動表彰だとか職場見学とか、4つのテストの普及等とかあるのですが、いろいろと議論されました。一つは精神論。具体的にはどうするのか。ロータリアンはどなたが話していただいても、一理のある職業奉仕の話はできるので

はないかと思えます。私の理屈で言えば2600人いれば2600通りの職業奉仕があります。ただ広すぎて話しにくいところもあります。先ほどの全体会議の中でも、8つの部門の中で職業奉仕についてどうしてはっきり話さないのかと思われる部分があったかもしれません。職業奉仕について言いよんだ部分が、会長部門において問題になりました。職業奉仕は、いろいろな団体がありますがロータリー以外の団体は、まず取り上げてはいない部分であるかと思えます。

一番大事な報告は、地区の予算が予算案通り通ったということです。ただし決算は、月信に載せただけということのないように、各クラブの皆さんにきっちりと報告してください。このことはガバナーエレクトも了解済みということで、会長部門は非常に和やかに行われました。ただ、ガバナーエレクトが言ったのは、身の丈にあった奉仕、地区大会への参加。そして国際大会はジャンボ機をチャーターして、500名で参加するということです。この意向に沿うように皆さんにもぜひご協力願いたい、ということで報告を終わりたいと思えます。ありがとうございました。

福岡：ありがとうございました。

会長部門には、インストラクターとして平原ガバナーエレクト、勝野ガバナーノミニ、ガバナー補佐の方々がご出席していただいております。

それでは、幹事部門の方へ移らせていただきます。アドバイザーの、平岡パストガバナー、よろしくお願いたします。

平岡PDG：それでは幹事部門報告させていただきます。久しぶりに、次期幹事の皆さんと共に月山学校に入門させていただき、みっちり勉強させていただきました。幹事の心得、それから幹事さんとしての事務手続き・対応等を極め細かくご指導をしてい

ただきましたので、次期幹事の皆さん方は大変よく理解できたのではないかと思います。そして特に平原ガバナーエレクトは方針の三本柱の一つとして、クラブの活性化を強調されており、私の方からはこの点につきまして幹事さんの役割が非常に大きいということで、少々具体的に話をさせていただきました。またCLPにつきましては、上野山情報・規定アドバイザー補佐から詳しくご説明をしていただきました。最後に、規定審議会にRI理事会から制定案として期限ぎりぎりに提案があったということで、その提案についてご説明いただきました。これは綱領の次に五大奉仕を軽視しないという内容でございまして、それにつきましてもご説明がございました。個人的にはありますが、四大奉仕がそのように軽視されないということであれば、我々日本のロータリアンにとってCLPも非常にホープフルではないかと思えます。

次期幹事さんの方から次のガバナー公式訪問についての内容、あるいはスケジュール等について質問がございましたので、宇田次期代表幹事には現在わかっている範囲内で、それに対するお答えをしていただきました。以上簡単ではございますけれども幹事部門の報告を終わらせていただきます。

福岡：ありがとうございました。もう一方、インストラクターでございます月山パストガバナーにお願いしたいと思えます。

月山PDG：最初に平岡パストガバナーから幹事の心得をお話していただきました。私の方からは実務について詳しくお話をさせていただきました。その後、CLPについてのお話をさせていただき、いろいろなご質問を皆さん方から頂戴しました。その中で私が気になったことは、クラブの来年度の計画を立てていく中で、公式訪問の日程が決まっていないので予定を立てにくいというご質問がございました。これについて次期

代表幹事からご説明をいただきました。会長部門でもご質問があったかと思いますが、出来るだけ早く公式訪問の日程を決めていただいて各クラブへご通知いただけたらと感じた次第であります。

幹事さんというのは大変なお仕事ではございますが、ぜひ今日お集まりの委員長さん初め皆様方で幹事さんをサポートしていただいて、クラブの活性化に繋げていただきたいと思います。以上、誠に簡単ではございますが私の方からの報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

福岡：ありがとうございます。幹事部門においては永島地区代表幹事、そしてインストラクターとして、上野山情報・規定アドバイザー補佐にもご出席を賜りました。本当にありがとうございました。クラブ奉仕部門へ移らせていただきます。クラブ奉仕部門のアドバイザーでございます亀岡パストガバナーにお願いしたいと思います。

亀岡PDG：クラブ奉仕部門についてご報告させていただきます。会員増強（退会防止）委員会の小林委員長から基本方針として、増強なくしてクラブの活性化なしということを中心にご説明がありました。「増強は坂道を登るごとし、退会は坂道を下るごとし。」という名言がございましたが、確かにそのように感じる次第です。そして世界の会員数、日本の会員数、当地区の会員数の推移、それから最近2年間の日本での脱会クラブと拡大クラブについての報告がありました。

情報・規定委員会につきましては、西尾委員長から今年は情報・規定の改定年度であるので、それが終わってからCLP、情報開示とういことについてお話していき、クラブからの要請があれば、クラブを訪問し皆さんにお伝えしたいということでございます。

雑誌広報委員会の方からは、まず脇村委

員長から、「ロータリーっていったい何をしているの？」といった質問を皆さんは何度か受けたことがありますか。したがってロータリーの活動はあまり知られていないのです。というお話と、私たちは地域社会の人々にロータリーの素晴らしい仕事ぶりを知っていただかなければなりません。そのためには何が必要か、やはり地域社会に対する広報である。それから内部的には、皆さんがよくロータリーの友とあるいは、その他のロータリー関係の雑誌をどんどん読んでロータリーの知識を皆さんに深めていただけたらというようなお話がございました。

次にIT委員会ですが寺下委員長から、地区内の全クラブの紹介頁を新規掲載していきたい、それから地区ホームページの作成並びにウェブサーバーの管理運営をどんどん進めていきたい、メーリングリスト活用による情報交換も進めていきたい、クラブ会員データの管理活用等も行いたいとお話がありました。それから、今までロータリー情報がたくさん貯まっており、整理していないのがあるので、これらを今後IT委員会で整理し、データベース化したいというお話もございました。

私の方からは効果的なクラブとはどういうものかというお話させていただきまして、会員増強の三つの柱というのは、勧誘と退会防止と新クラブの結成であると、ということについてお話をさせていただきました。以上でございます。ありがとうございました。

福岡：ありがとうございました。それでは続いて職業奉仕部門の方へ移らせていただきます。職業奉仕部門のカウンセラーで平尾パストガバナーよろしく申し上げます。

平尾PDG：先ほど前窪パストガバナーより会長部門の報告で、職業奉仕の事業は何をするのかという質問がございました。まず

職業奉仕というのは、ロータリーの哲学であり理念であります。事業をするというのは少しおかしいと思います、と私はそういう説明をいたしました。けれども事業をするとなると、中・高校生を呼んで職場体験をさせる、またロータリアン自身が、他の人の職場を体験して勉強するといったことになるのではないかと思います。ロータリーの職業奉仕委員会というのは、ロータリーの中心となる職業奉仕の理念を、会員の皆さんに理解していただくのが委員会の仕事である、ということをお話させていただきました。職業奉仕委員長さんも、ある程度理解してくれたようであります。

職業奉仕の理念はRIにしても米国にしても、どんどん忘れられていってるといえるか、なくなってきております。どうか日本のロータリーだけはこれを持ち続けて、会員がこのことを理解してロータリーの精神をきちんとわかっていれば、ロータリーを好きになり、楽しくなり、クラブは活性化していくのではないかとということになりました。ありがとうございました。

福岡：ありがとうございました。それでは、続きまして社会奉仕部門のカウンセラーの前田パストガバナーにお願いしたいと思っております。

前田PDG：まず次期社会奉仕委員会の笹島委員長より、次年度の活動方針についてお話がございました。ロータリーの社会奉仕活動は、ロータリーの心臓の鼓動であるということから、次年度の奉仕活動を述べられました。活動計画は5つございますが、それに続きまして、各クラブ相互の社会奉仕活動の情報交換、識字率向上運動、エイズ問題への取り組み等についていろいろお話があり、アフガニスタン復興のためのノンフォーマル教育普及といったことについてもお話がございました。これは社会奉仕ではなくて国際奉仕ではないかという話も

ありました、現在この社会奉仕の中で、識字率等々も取り上げられているように、話し合いの結果なっているということでした。

引き続きまして、亀岡次期環境保全委員長より次年度の活動方針についていろいろお話がございましたが、特に問題となったのは、ロータリー100年の森のことです。植樹の後、二十数本が、枯れたような状態になったものがあったようで、これについての補植等の話ができました。それから質問としてですが、ロータリーの森が急斜面で、そして腰を下ろす場所もないし、陽にかかれる場所もないといったことで何とかならないかという意見もありました。

そして谷脇委員よりも社会奉仕事業の報告について、いろいろ情報交換の意見がございました。私はロータリーの奉仕活動の花形は、社会奉仕にあると思っております。ロータリーの旗を掲げて多くの人にロータリーの社会奉仕活動を知っていただきたい。また社会奉仕活動だけでなくロータリーの奉仕活動を広く大勢の方々に知っていただきたいと思っております。以上でございます。

福岡：ありがとうございます。続きまして新世代部門の方へ移りたいと思っております。アドバイザの楠パストガバナー、よろしく申し上げます。

楠PDG：私の方からは最初のご挨拶だけさせていただきます。後はカウンセラーの水田パストガバナー、そしてインストラクターの本年度青少年・ライラ委員会の阪井委員長のご指導のもと進められましたので、水田パストガバナーの方から詳しくご説明をいただきます。

福岡：ありがとうございます。それでは、水田パストガバナー、よろしく申し上げます。

水田PDG：楠パストガバナーがおられたので、私も非常に勉強させていただきましたし、楽しませていただきました。新世代部門は青少年・ライラ委員会、ローターアクト委員会とインターアクト委員会の3つが、それぞれの委員長の方から説明がございました。参加された皆さんは青少年の育成についての意識を十分高められたと私は思っております。阪井インストラクターから、各クラブひとつだけ質問してくださいということで、質問書を提出していただきました。58クラブの参加で、その後で披露させていただき、それぞれの担当の方から答えられるものは答えていただきました。

ライラは、今年は4月28日に海洋センターで開催される予定で、すでに参加者は決まっているということです。全部で76クラブありますが25クラブからの参加で、約80名から100名になるだろうということです。それを聞いてちょっと寂しくなったのは、今日の新世代部門として、青少年育成の重要性を考えると、全クラブがロータリアンを含めて、青少年と共に参加していただくことが非常に大事ではないかと強く印象づけられたところであります。

次にローターアクトとインターアクトでありますけれども、お世話下さっているクラブの皆さんには非常にご尽力いただいております。頭が下がる思いをしています。ローターアクトで一番新しいのは、海南と海南東ロータリークラブで14年前に設立され、その後は設立されておられません。インターアクトは2～3年前にあります。もう少し元気をだして積極的に青少年の問題を考えれば、どちらもこの機会に拡大をする必要があるのではないかと私は強く思ったわけです。皆さんにもお願いしました。次年度はその方に力を入れなければならないと思っております。もちろん会員の増強も必要でもありますし、拡大にも力を入れて、青少年の育成にも力を尽くしていきたいと思っております。以上です。どうもあ

りがございました。

福岡：どうもありがとうございます。続きまして国際奉仕部門のアドバイザーで瀬戸パストガバナーをお願いをしたいと思います。

瀬戸PDG：本来、国際奉仕部門は9つの委員会が守備範囲になっておりますが、おそらく時間の都合で、世界社会奉仕と青少年交換、オン・ツー・ロサンゼルススの3委員会にしばられたのでしょう。小島インストラクターは非常にベテランでございますので、その4人の話が非常に面白かったものですから、時間も足らずのような状態で皆さん興味深くお聞きいただきました。

最近、お医者さんで大学時代に山岳部におられた人が、ネパールに行った時の話を聞いたんですが、ネパールに大きな病院があり見せてもらいたい、と寄ったら、今日は具合が悪いので明日にしてくれということで一日待たされ、そして翌日行きますと、出してきたのが日本のODAでもらった非常に貴重な医療機械だったそうですが、それがピカピカで埃を払ったような感じで、使っていないということがわかりました。何千万円もする機械らしいのですが、それを使用する消耗品を付けていないし、使い方を十分に説明していないということです。そういう外務省のODAのやり方に非常にがっかりしたというお話を聞きしました。

毎年地区から本年度はインドネシア、次年度はフィリピンに行かれるそうですが、その点、京谷WCS委員長は、RIの重点事項について社会奉仕として適当な問題を、皆さんで現地に行って勉強してくるという方法をとっております。そういう意味で文部省のODAのやり方と違った非常に綿密な計画を立てておられるのに感心いたしました。どうもありがとうございました。

福岡：どうもありがとうございました。それでは国際奉仕部門のもう一方、小島パストガバナーにお願いしたいと思います。

小島PDG：今、瀬戸パストガバナーがおっしゃった通りであります。私とWCSの京谷委員長、それから青少年交換の吉岡委員長、ロスアンジェルスへ行こうという楠見委員長の4人がいろいろ話しを致しました。ちょっと意外でしたのが、その後で質疑応答の時間をとったのですがほとんど質問がありませんでした。ということは、私を含めて4人の説明が非常に完璧だったので質問することがなかったのか、それとも全くわからなかったのか、それとも全くなかったのかどちらかだと思います。次年度、よろしくお願いしたいと思います。

福岡：ありがとうございます。続きまして財団部門のカウンセラーでございます中島パストガバナーにお願いしたいと思います。

中島PDG：CLPの中でこの財団をどう扱うかということでございますが、エバンストンからの提案によりますと、ロータリー財団委員会というのは非常にフットライトを浴びまして、そして国際奉仕委員会はどこに行ったのかわからないという感じであります。私は、この関係は非常にまずいと思います。私たちは寄付団体ではありません。したがって国際奉仕委員会の中で、世の中が、世界が、非常に住みよい所になるにはどうしたら良いのか、そのための人材育成などもどのようにしたら良いのかということらを皆で話し合っ、そして出来ることから行っていく。そのためにロータリー財団というものがあって、それは国際奉仕のための道具であります。いかにも財団の方が脚光を浴びてしまっていますが、私はそうあるべきではないと思います。まずプログラムありき、そしてプロジェクトありきで、それを遂行するためにはお金がいる

から皆様方をお願いするという関係であります。まず寄付しなさいというのではありません。本日は次年度の理事の方がほとんどおられる訳ですから、皆様方がCLPを取り扱う時には是非この点はよく気を付けてお取り扱いを願いたいと思います。まず寄付ありきでは絶対に寄付は減ります。そして、良い奉仕が出来ません。したがって、国際奉仕委員会に重き置いてをいただきまして、理事もそこから出していただき、その道具として財団を使っただけというようにお勧めいただきたいと思っております。これは皆様方のクラブを活性化するためのプランを練るわけですから、皆様方の手の中にある訳です。ただ、クラブが活性化出来ればそれで良いという訳ではないと思っております。私たちのロータリー運動、そしてロータリーのスピリッツ、ロータリーの哲学、そういったものが活性化して初めてクラブと共に良い活性化が出来る訳ですので、そのところを是非お考えいただきまして、ロータリー財団委員会の有り様をそうあるべき所に据えていただきたいと心からお願いしたい次第です。そして、先ほど申しましたように、まずプログラムありき、そしてプロジェクトありきですから、小委員会の委員長からプログラムの説明をしていただきました。次年度も是非今まで通り、2640地区が世界に冠たる国際奉仕の活性化された地区であるということが続きますように、皆様方のご協力を心からお願い申し上げ報告にかえさせていただきます。ありがとうございました。

福岡：ありがとうございます。それでは米山部門の方に入りたいと思います。アドバイザーの大澤パストガバナー、よろしく願いいたします。

大澤PDG：米山部門のご報告をさせていただきますが、実は3日前にピンチヒッター

でご指名を頂いたばかりで少し慌てましたが、幸いにもベテラン中のベテランの松下さんに補佐としてご出席いただきました。これまたベテランの米山奨学事業委員の河合さん、そしてさらに次年度から米山奨学事業委員長になれる米田さんに付いていただきましたので、無事に米山部門の協議会を開かせていただくことが出来ました。お三方にはお礼申し上げます。私は何も言わなくても良かったのですが、ただいろいろとご質問いただきました。中で気になりましたのが、CLPを行った時に、この米山がどのようなことになりますかという質問でした。私はその前に本日の出欠を見ますと、11クラブも欠席が出ており代理が7クラブでした。これはひょっとするとCLPの影響ではないかと、先ほど上野山さんに質問したところ、それはあまり考えなくても良いのでは、ということでした。各クラブでCLPお取り扱いの時には、こんなに素晴らしい事業はないですから是非とも米山委員会だけは小委員会で残して下さい。米山委員会がなくなれば、日本のロータリーはどうしようもありません。

他にカウンセラーの役目というのは、どのようなことですか？という質問がありました。私はセクハラに気を付けて下さいよ、と申し上げました。今の時代、裁判ざたになることもありますので、そのようなこともご注意申し上げます。

それからもう一つ、中国は多過ぎるのでは？といったご質問もございましたが、ふるいをかける前の申し込みで70%を中国が占めているものを最終的には30%台まで絞り、素晴らしい中国人を選んでいることをご報告しておきました。以上でございます。ありがとうございました。

福岡：どうもありがとうございます。これももちまして9部門のアドバイザー、カウンセラーの方々にご報告をいただきました。ここで本年度の三軒ガバナーより9部門の

総評を賜りたいと思います。ガバナーよろしく願いいたします。

三軒G：いよいよ終わりに近づきました。最後までほとんどの方にお残りいただいていることに感謝申し上げます。この地区協議会は次期のためのものですが、主催はガバナーということで私となっておりますので、そういう意味でも心から感謝したいと思います。私の時はもう少し減ったのではないかというような気がするのですが、今回は非常に熱心な方ばかりで、会員が減った分、良い会員ばかりが残ったのではないかと考えています。本日ご指導いただいたパストガバナーの皆さん本当にありがとうございました。それから地区委員会の委員長、委員の皆さん、ガバナー補佐の皆さん、本当にありがとうございました。

ロータリー財団のことを先ほどおっしゃいましたが、ロータリー財団、米山もそうですが、私どもの地区はずっと大変寄付額が多かったものですから、大変良い位置にあります。良い位置にいるというのはガバナーとしては良い顔が出来るということです。ロータリー財団は、実は別組織になっていますが、その管理委員会トラスティというところが方針を決定するところであり、この管理委員がなかなか難しいものでして、うちの中島治一郎パストガバナーは20年近く前にその管理委員会の管理委員をされたというすごい方です。小島パストガバナーは今、RRFCと言いましてコーディネーターをされており、かつて大丸さんは米山の理事をされておりました。そういう意味で我々の地区は大変素晴らしいのでありますが、最近少し寄付額が落ちていきますので、そういう意味からも先ほど来年度はと言っておりましたが、今年度まだ残っておりますので、どうぞ引き続き6月末までに寄付をお願いしたいというのが私の希望であります。

平原年度がいよいよあと少しで始まりま

すが、その前に私の地区大会の時に、職業奉仕の話が出ました。職業奉仕がどこかに行ってしまうのではないか、特にCLPでは職業奉仕あるいは四大奉仕がどこかに行く。私はガバナーになっていろいろ勉強しました。もともとロータリーとは何かというのはわからなかったのですが、実はわかったのです。これは地区大会でお話ししようと思いましたが、こんなに沢山いらっしゃいますので私の考えを申します。

実はロータリーというのは、職業人の倫理の向上の為の団体であるというように私は理解しました。奉仕活動はその手段に過ぎないし、寄付するのもその手段に過ぎない。いろんな例会に出席するのもその手段であるというように私は解釈いたしました。私のようにあまりお金を持っていない者でも、あるいは時間のない者でも、また奉仕活動ができない時が多い者でも、ロータリアンとしてやっていけるのかと言うと、それはそれで例会だけきちんと出席していましたから、それでも自分の職業人としての倫理を上げるためには役に立っていると思います。今は時間もお金の方も少々余裕が出来ましたので奉仕活動が出来るようになりました。それで良いのではないかと私は考えております。全ての奉仕活動をやらなければならないことはないと思います。正しいかどうかわかりませんが、例会に出席するだけでも良いと、私はそのように考えます。本日は、皆さんどうもありがとうございました。

福岡：三軒ガバナー、本当にありがとうございました。これで、9部門の総評をいただいたわけですが、各部門協議会のカウンセラー・アドバイザー・インストラクターの方々に今一度大きな拍手でお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。それではここで、次年度の平原ガバナーエレクトより謝辞を申し上げます。

平原GE：皆さん、長時間熱心に討議をいただきましてありがとうございました。本日、この熱の入った非常に熱心なご討議が次の年度に花開くと私は期待を致しております。お互いの幸せのために頑張りましょう。本日は誠にありがとうございました。

福岡：ありがとうございました。それではここでロータリーソング「手に手つないで」をご唱和したいと思いますので、その場でお立ちになって隣の方と手を組んでいただきたいと思います。ご唱和よろしく願いたします。

福岡：どうもありがとうございます。それではここで閉会の点鐘を平原ガバナーエレクトよろしく願いたします。

平原GE：皆さん本当に一日ありがとうございました。なお、今日欠席されました委員長さんの書類、資料につきましては、事務局から送らせていただきます。欠席の届けのあった方については、各クラブの会長さんにお持ち帰りをお願いしたいのでご協力をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

